



平成 17 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名：株式会社 レッグス  
代表者名：代表取締役社長 内川 淳一郎  
( J A S D A Q ・ コード番号 4286 )  
問合せ先：取締役管理グループグループリーダ - 古瀬 康弘  
電話 : 03-3408-3090

## 平成 17 年 12 月期中間（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 2 月 14 日の決算発表時に公表した平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 17 年 12 月期中間連結業績予想数値の修正

( 1 ) 中間期の業績予想（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）の修正 ( 単位：百万円 )

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 ( A )	2,810	176	91
今回修正予想 ( B )	3,185	254	133
増減額 ( B - A )	375	78	42
増減率 ( % ) ( ( B - A ) / A )	13.3	44.3	46.2
( ご参考 ) 前期実績 ( 平成 16 年 12 月期中間 )	2,434	96	47

#### ( 2 ) 修正の理由

当社グループが属する広告・販促市場は、広告主のニーズが高度化・多様化し、それに伴い広告・販促事業者間での競争は一層激しさを増してきておりますが、日本経済の動向に連動した主要広告主の業績回復により、当連結会計年度も引続き市場の拡大が期待されております。

このような環境の下、当社グループは、中期的経営戦略である『4つの集中』( 『業界・顧客の集中』 『業務の集中』 『商材の集中』 『情報の集中』 ) を基本戦略に事業展開してまいりました。

『業界・顧客の集中』につきましては、当社グループの注力業界であります、食品・飲料及び流通業界を中心に事業展開を進め、これらの業界向けを中心に業績が進展いたしました。特に、飲料業界向けの受注実績が前年同期比で大幅に増加いたしました。

『業務の集中』につきましては、社内情報の共有化及び営業事務の分業化を進める為に新設した営業推進チームの稼働により営業体制の効率化を進めております。

『商材の集中』につきましては、販促手法のひとつである「総付景品」( 1 )、いわゆる「ベタ付けプレミアム」( 2 ) 商材への注力により当中間期において、大型案件を中心に同商材受注額が、前年同期比で大幅に増加いたしました。

『情報の集中』につきましては、基幹システムを活用し、企画書データベースの導入を実施し、社内情報の共有化を進めております。

これらの理由により、当中間期の連結業績予想数値としては、売上高は 3,185 百万円 ( 前回予想比 13.3% )、経常利益は 254 百万円 ( 前回予想比 44.3% )、中間純利益は 133 百万円 ( 前回予想比 46.2% ) を予想しております。

- 1 「総付景品」とは、一般消費者に対し、懸賞の方法によらないで景品を提供するもので、商品の購入者全員に、入店者全員に、申し込みまたは購入の先着順に提供するものです。
- 2 「ベタ付けプレミアム」とは、一定期間内に購入した全ての一般消費者に提供される景品で、例えば、ペットボトル飲料のキャップに付いてくるキーホルダーやフィギュアなどがこれにあたります。

## 2. 平成 17 年 12 月期中間単独業績予想数値の修正

( 1 ) 中間期の業績予想 ( 平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日 ) の修正 ( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 ( A )	2,080	138	79
今回修正予想 ( B )	2,542	208	119
増減額 ( B - A )	462	70	40
増減率 ( % ) ( ( B - A ) / A )	22.2	50.7	50.6
( ご参考 ) 前期実績 ( 平成 16 年 12 月期中間 )	1,871	84	40

### ( 2 ) 修正の理由

連結業績予想に記載の内容とほぼ同様の理由により、当初の予想に対し大幅に業績が向上する見込みとなりました。

これらの理由により、売上高は 2,542 百万円 ( 前回予想比 22.2% )、経常利益は 208 百万円 ( 前回予想比 50.7% )、中間純利益は 119 百万円 ( 前回予想比 50.6% ) を予想しております。

なお、平成 17 年 12 月期通期 ( 平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日 ) 業績予想につきましては、依然、不確定要素が多いため、連結・単独業績ともに現時点での変更はおこなっておりません。今後の事業の進捗状況を踏まえて、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

#### 業績予想の利用に関する注意事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上